

文責：桑江良明

青年技術士交流実行委員会主催「一次・二次試験合格者歓迎会」 参加報告

2009 年から毎年実施されている青年技術士交流実行委員会主催の一次・二次試験合格者歓迎会に、原子力・放射線部会を代表して参加したので概要を報告します。

1. 日時：2012 年 4 月 28 日（土）13:30－18:00（交流会 18:10－20:00）
2. 場所：葺手第二ビル 日本技術士会会議室 A,B,C,D
3. 参加者数：合計 86 名（一般 56 名、技術士会各部会 14 名、実行委員会 16 名）

参加部会・委員会は以下のとおり

水産、機械、電機電子、金属、建設、上下水道、衛生工学、農業、経営工学、情報工学、環境、原子力・放射線、修習委員会（なお、原子力・放射線部会からは、桑江、阿部幹事（一部）のほか、榊幹事が修習委員会委員長として、山中部会員が主催者側メンバーとして参加した。）

4. 内容：

（1）開会挨拶、青年委員会の紹介、国際交流の紹介

日本技術士会の中での青年委員会の位置付け、活動内容について具体的な説明があった。特に交流については「研鑽」「国際交流」「全国交流」の 3 本柱を中心に行っている旨説明があった。

また、昨年度青年委員会から参加した香港交流（2011.2）の様子などが紹介された。

（2）各部会、委員会紹介

各部会（3. 参照）の代表者が、各部会の特徴と活動内容について説明した。

原子力・放射線部会からは、技術士会内で一番「若い」部会であり組織内技術士が多いなどの部会の特徴とあわせ、福島原発事故後の福島復興支援（一次帰宅者、避難者支援、地元自治体支援等）に鋭意取り組んでいることを説明した。

（3）グループディスカッション

全員参加型のイベントとして、「青年委員会の交流」をテーマにしたグループディスカッションが行なわれた。参加者（合格者）を A～F の 6 チーム（11 人／チーム）に分け、各チームにコーディネータとして委員会メンバーが加わって行われた。初対面の参加者同士が徐々に打ち解け活発な意見交換をす



部会紹介をする筆者



コーディネータを務める山中部会員

る様子が見て取れた。各部会からの参加者も適宜、傍聴し意見交換に加わった。

意見交換の後、各チームからの成果発表が行われた。発表内容はいずれも真剣に議論したことが窺える内容であった。

最後に各部会代表者から一言ずつ講評を行った。



成果発表で活発に意見交換する参加者

5. 所感：

今回参加した、青年技術士実行委員会主催の「一次・二次試験合格者歓迎会」は開催目的として以下の2点を挙げていた。

- ① 今後の活動基盤となる技術士会で、自分の所属部門にとらわれない出会い（横のつながり）を得、先輩技術士から JABEE 出身者にいたるまで世代を越えた縦のつながりを得る。
- ② 日本技術士会および青年技術士の活動内容をより多くの方に理解していただく。

原子力・放射線部会としても、今年3月2日に実施した他部門技術士を交えた意見交換等を通じて、上記と同様の観点からの活動姿勢が求められていると感じており、青年委員会の今回の催しは大いに参考になるものであり刺激を受けた。

以上